

2023.0308 峡南支部研修会 アンケートまとめ

1.研修でどのような学びや気づきがありましたか？

病気と闘う、治療するのではなく、共に生きることが大事であると学びました。

感情表出について、高EEと低EE。抑制する情報量によって変わる事。

不安症の方が大きな声を出すには漠然とした不安があるから

感情表出の高い・低いで違いがあること。

分かりやすい説明で良かった。

正解は自分で探る物。

高EE、低EEについて。認知症知恵の輪ネットについて。

認知症の方と障害者の方の接し方

研修中に電話の対応が入ってしまい全部聞けなかったのですが、感情の表出や声掛けする時の自分のコントロールの仕方など具体的でわかりやすかったです。

病気への理解を深め寄り添うことが大事だと分かった。

感情表出について初めて学んだ

メンタライジング能力の捉え方

高EE,低EEを理解できました。とても勉強になりました。ありがとうございます。

その人の病気をきちんと認識することの大切さを確認できました。

家族が患者に対する態度や言葉で再発を引き起こすリスク・病気の受け入れの大切さ

精神疾患、認知症についての理解がさらに深まった。

病気を理解することが重要であることをあらためて感じました。

病気を知らないと、家族にも説明ができなく介護方法を伝えることができないこと。

知識が低いことで症状に上手く対応出来ない。精神疾患の所の話で、先生が「日頃、皆さんが行なっている所」と言っていた所を、もう少しじっくり見たかったです。

まずは病気を知る事。病気を受け入れてあげる事が大切である事。

感情表出の仕方が精神疾患の方の病気の再発に関わっていることをデータで知ってびっくりした。

「感情表出」について学ぶことができた。説明や説得では逆効果になってしまう事もある。

認知症を良くするために介入するのではなく、認知症があっても楽しく過ごせるようサポートしていきたい。

慢性疾患は「闘病」ではなく「共病」という言葉も学べた。

同じ物事が起きている上場で高EE,低EEで物を見る見方がちがうということが講義でしっかり理解できた。

家族のかかわり方で、大きく病状が変わることが分かった。

Hee Leelについて

良い介護をしても、悪くなるものは悪くなるということや、情報量が少ないとEEが高くなるという話が参考になった。

支援者が病気の理解をすることで、適切な支援につながると感じました。

家族の感情の表出の支援も大事になってくると改めて感じました。

毎日の対応とても役に立つ研修でした。

感情表出において高表出と低表出の関係性

精神疾患を有する方への接し方には家族等の身近な方の感情表出が症状に大きく影響することと薬物による効果より高いエビデンスがあることが分かり、感情表出を低くする（適度な状態にする）には程よい距離感をとりながらも寄り添った関わりをとれることで現状を受け入れることが症状悪化や再発を防ぐことにつながることも理解できた。病因による症状であるという客観視できる正しい病識を持つことが重要であることも分かった。認知症で判断能力や理解力が低下された方には説得や説教しても返って逆効果で悪化することや、不安神経症など原因や理由が不明な不安に対しては接し方による対応を検討するより、抗不安剤などの薬物療法が効果的であることなど、病状や病態の判断については精神科医等の専門の先生に鑑別していただくことも大切であることも気づいた。

2.研修での学びや気づきを、あなたはどの様に業務に反映させますか？

認知症や精神疾患を抱えた利用者、家族への接し方を反映したい。

家族に説明してみたいと思います。専門職でも高EEの方がいるので、自分自身や事業所の職員も振り返りながら成長していきたい。

あまり反映できないかなと。もっと疾患別の症状を聞きたかったです。

相手を受け入れることが大切なので受け入れることをしていきたい。

に接したいと思います。

まず、母親の対応に反映させたい。

症状に対して本人の身になって考えるようにする。

認知症の方についての対応方法

声掛けの方法は学びになり、明日からの業務に生かせると思います

入居者に寄り添い楽しい生活が送れるように支えていきたい。

認知症の利用者や、統合失調症や精神疾患の家族や支援者に対してアドバイスが出来ると思う。

認知症状の利用者との接し方等

考えたいと思います。

不安を抱えている家族に対して、病気の認識ができるような支援が必要と感じた。

認知症ちえのわnetを初めて知ったので参考にしたい

認知症の利用者様の対応に役立てたいと思います。

認知症の方や精神疾患の方への対応時、その方やその方の状況を受け入れることを心がけていきたいと思ひます。

受け入れること、知識をふやしてゆきたいです。

病気について家族に話をして対応方法など伝えていく。

病気の症状をもう少し学び、日頃の業務時に落ちついて対応できるようになりたい。

病気を知る、知識を高める努力をしたい。その後の対応を不安なく業務に活かしたい。

自分自身の感情や表出の仕方をコントロールしながら俯瞰的に相談援助できるように心がけていきたい。

「病気を受け入れてあげる」や「病気を知る」という事について、意識を高くしていきたい。

今後、利用者、家族と関わる際は、どのような状態であるかも理解しながら意図的にかかわりを持ちたいと思う。

正そうとするのではなく、本人、家族の苦しんでいる理解をすることが大切だと感じ、特に家族支援で学んだこと活用できるようにしていきたい。

指導的ではなく、1人のサポーターとして接すること

認知症のケースで、ご家族と主治医・訪問看護と話し合いをする予定になっている。ご家族が頑張っていて関わっているが、それでも認知症の進行が進んでいるので、自分たちの対応が悪いのではないかと考えていた。今回の講義を参考にして、ご家族にお話しをしていきたいと思う。

病気の正しい理解をする。

責めない支援をする。

精神疾患や認知症の方、本人や家族の思いを聞き取るための考え方や見方が変わって考えられるようになると思いました。

支援をサポートする側としてよい対応・ケアをという意識にかられていましたがその方のび病気、相手を知る姿勢を持つこと

相談の中で現状困っていることに対して相談の主題となりがちであるが、本人の病状や家族の介護状況など把握していく上で身近な支援者である家族等の感情表出についても把握したりして場合によっては家族支援も含めて支援の方向性など検討を進めていくことと、専門職との連携を図りながら病状へのより一層の理解と具体的な対応について情報共有を図り、適切な支援につなげていきたい。

3.今後受講したい研修テーマをお教え下さい

特になし

お任せします

来年度の法改定の内容

特にないです。

疾患別の対応方法

成年後見制度

認知症状があり借金が多額にある方の対応方法

専門医の公演は身になります。

成年後見人制度の研修

精神疾患の家族の対応

日常生活自立支援事業と成年後見制度の違いについて学べればと思います。

認知症の方の対応方法について

利用者の意欲の引き出し方

今回のような精神疾患、パート2など....。

後見人制度や生活保護等、社会福祉制度について

ACP

延長で、HighEEの家族の関わり方などもっと学びたい。

特にありません

精神疾患の事例検討会

障害者支援について

メンタライゼーションについて

身寄りのない人への支援の実際

4.研修運営に関してご意見・ご要望がありましたらお教え下さい

特になし

とても良い研修を開催して頂きありがとうございました！！参加してよかったです。

ズームのご準備お疲れ様でした。ありがとうございます。

特にないです。

大変素晴らしい研修を用意していただき、ありがとうございました。

今日参加できて良かったです！

特になし。

勉強になりました。ありがとうございました。

研修の機会が少なかったなので、とてもよかったです。

お忙しい中わかりやすく講義をしていただきありがとうございました。

参加させて頂き、ありがとうございました。

本日もありがとうございました。運営は少人数で大変かと思いますが、何か力になれることがあれば、お手伝いしたいと思います。

特にありません。川崎先生の講演良かったです。勉強になりました。また、役員の皆様、お疲れの中、素敵な研修を計画・開催していただきありがとうございました。

相談援助業務にとっても役立つ研修だったので、今後もこのような研修をたくさん企画して欲しい。

ZOOMの研修は、参加しやすく良かったです。

本日の川崎先生の講義資料（スライド）をメールにてデータで構いませんのでいただけることは可能ですでしょうか。

5.本研修の満足度をお答えください

31 件の回答

